

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

今年是对面での講演会が実現できました。 「技術士を知ろう！ in 北見工業大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2021年度の活動第5弾は、2019年度から講演を行っている北見工業大学(北見工大)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2021.11.26(金) 14:45～16:30

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容と役割(講演2編)
土木全般の仕事紹介

対象者：北見工業大学 地球環境工学科、
地域未来デザイン工学科 計39名

参加幹事：塩見、木本、仁田、千葉(記)(ミライ研4名)。仁義(青技交1名)。

北見工大での講演は、工学部社会環境系の中村先生の力強いバックアップがあって、これまで実施してきているのですが、今回も先生の機転により、講堂を会場とすることで感染対策にも配慮しつつ、対面での講演会を実現することができました。



写真-1 広い会場でマイクテストする木本技術士

3. 技術士について

まず私からイントロダクションとして、「技術士資格の説明」と題し、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をするうえでの資格取得の重要性等について説明を行いました。

ミライ研が実施する「技術士を知ろう！」において、冒頭のイントロダクションは小澤代表の定位置となっているのですが、今回どうしてもスケジュール調整がつかず、私が代行することになりました。

小澤代表のような、圧倒的な存在感は出せていなかった気がしますが、見た目的にはまずまずの輝きだったと思います。笑



写真-2 学生達に明るいミライを語った筆者

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士補の仕事(仁義技術士補)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは北見工大OGで、清水建設(株)に勤務する仁義技術士補から、担当していた仕事(トンネル工事現場)の講演を行いました。トンネル工事における一般的な施工方法に対し、現場条件から別の施工方法を実施した経緯や

その効果等、自身が経験した課題解決方法や女性技術者へのメッセージ等を紹介してくれました。

仁義さんからの言葉で、「学生時代は“1+1=2”を覚えることが重要で、ゼネコンは“2”という答えに辿り着くため、どういった数式が適切かを考えることが仕事です。」とありました。学生達はもちろんのこと、大人たちも唸らせる名言が生まれた瞬間でした。



写真-3 生誕講演となった仁義技術士補(青技交 幹事)

(2) 技術士の仕事(仁田技術士)

続いて(株)雪研スノーイーターズに勤務する仁田技術士から、関わってきた仕事の紹介をしました。

学生時代に思っていたことから、社会に出て感じたこと、前職での測量に関する仕事や、現職の雪に関する仕事、さらに、資格等を取得することで転職、現在の立場になっているという経歴も交えた説明で、就職後の就業イメージや資格の重要性等が伝わったように思います。

仁田技術士のプレゼンは、とにかく間合いの作り方が巧みです。学生達にとってプレゼンの良い見本にもなったかと思います。



写真-4 新雪のように軟らかい語りの仁田技術士

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

木本技術士が所属する会社だからこそそのスケール感で、土木や建築業界が学生たちの身近にあることを紹介してくれました。

大学3年生のこの時期は、企業説明会等も徐々に始まりだすことから、自らが進むべく進路を考えるうえにおいても、有意義な講演だったと思います。

6. 質疑応答

質疑応答では、講演者に加えて北見工大OBでもある塩見技術士にも登壇してもらい、学生からの質疑に対して回答を行いました。

「トンネル工事は危険な作業も多い印象なのですが、安全面で心掛けた事は何か?」という質問に対して、現場経験豊富な塩見さんからの回答は、昔から現在までの移り変わりも含めて、現場での安全対策について丁寧に回答していました。

他にも「社会人として大事にしなきゃいけないことは?」「アイデアはコミュニケーションから生まれるものか、それとも一人で生み出すものか?」「社会人から見て学生がやっておくべき事はありますか?」といった今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事に関する質問も多くありました。

7. まとめ

学生からの感想には「技術士を取得したくなった」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、39人中26人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、39人中33人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.5と学生に高評価であり、まずまず成功できたと考えています。また、講演当日は、仁義技術士補の?回目のお誕生日でもありました。後輩達から多くのお祝いメッセージも頂けて、仁義さんにとっても忘れられない1日になったかと思います。